

安全データシート

作成日 : 2005 年 10 月 1 日

改訂日 : 2026 年 5 月 11 日

1. 製品名及び会社情報

製品名 : BTB 液（プロモチモールブルー溶液）
会社名 : 協和純薬工業株式会社
住所 : 東京都北区浮間 4-16-28
担当部門 : 品質管理室
電話番号 : 03-3968-7441 FAX 番号 03-3969-0049
緊急連絡先 : 協和純薬工業株式会社 本社（電話：03-3968-7441）

2. 危険有害性の要約

GHS 分類: 該当なし

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル: 該当なし

注意喚起語: 該当なし

危険有害性情報: 該当なし

注意書き

安全対策: この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。
保護手袋および保護眼鏡、保護面を着用すること。

応急処置

吸入した場合: 気分が悪い時、身体に異常がある時は、医師の診断、手当てを受けること。

皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹼で洗うこと。

眼に入った場合: 水で15分以上注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。直ちに医師の診断、手当てを受けること。

保管: 直射日光を避け、容器を密閉して冷暗所に保管すること。

廃棄: 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理すること。

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外または分類できない。

3. 組成・成分情報

化学物質・混合物の区分: 混合物

化学名又は一般名：	プロモチモールブルー	水酸化ナトリウム	純水
濃度又は濃度範囲(含有量)：	0.04w/v%	0.01w/v%以下	残量
化学式：	C ₂₇ H ₂₈ Br ₂ O ₅ S	NaOH	H ₂ O
分子量：	624.38	40.00	18.02
CAS No.：	76-59-5	1310-73-2	7732-18-5
官報公示整理番号			
化審法：	---	1-410	---
安衛法：	---	公表	---

4. 応急措置

吸入した場合：	気分が悪い時、身体に異常がある時は、医師の診断、手当てを受けること。
皮膚に付着した場合：	多量の水と石鹼で洗うこと。
眼に入った場合：	水で15分以上注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合：	口をすすぐこと。直ちに医師の診断、手当てを受けること。

5. 火災時の措置

消火剤：	周辺設備に適した消火剤を用いること。
使ってはならない消火剤：	特になし
特有の消火方法：	移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器および周囲に散水して冷却する。
消火を行う者の保護：	消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置	： 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を退避させる。こぼれた場所はすべりやすいために注意する。少量の場合は掃き集めて、多量の場合はスコップなどを用いて速やかに回収する。
環境に対する注意事項：	漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。
回収・中和：	乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させ、密閉できる空容器に回収する。残りは大量の水を用いて洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策：	適切な保護具を着用する。
安全取扱い注意事項：	容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。 漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに蒸気を発生させない。 使用後は容器を密閉する。 取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。 指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。 休憩場所では手袋その他汚染された保護具を持ち込んではいない。 取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。

保管

適切な保管条件：	直射日光を避け、容器を密閉して冷暗所に保管すること。
接触禁止物質：	水反応可燃性物質
安全な容器包装材料：	ガラス、ポリエチレン、ポリプロピレン等

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度：	設定されていない
許容濃度（ばく露限界値、 生物学的ばく露指数）	設定されていない
日本産業衛生学会 （2009年版）	2mg/m ³ （上限値）（水酸化ナトリウムとして）
ACGIH（2009年版）：	2mg/m ³ （上限値）（水酸化ナトリウムとして）（TLV-STEL）
設備対策：	取扱い場所には、局所排気装置を設置する。
保護具	
呼吸器の保護具：	呼吸器保護具（防じんマスク等）
手の保護具：	不浸透性手袋
眼の保護具：	側板付き保護眼鏡（必要によりゴーグル型）
皮膚及び身体の保護具：	長袖作業衣、保護長靴

9. 物理的及び化学的性質

形状：	液体
色：	濃青色
臭い：	無臭
pH：	弱アルカリ性
比重：	約 1.0
溶解度	

溶媒に対する溶解性： 水と自由に混和する。エタノールに可溶。

10. 安定性及び反応性

反応性： 酸と接触すると反応して発熱する。

化学的安定性： 通常取り扱い条件においては安定。
長期保管すると、空気中の炭酸ガスを吸収して、液の色が徐々に黄色に変化する。

混触危険物質： 酸性物質

避けるべき条件： 直射日光、熱、空気（炭酸ガス）

11. 有害性情報

急性毒性： データ不足の為、分類できない。

皮膚腐食性・刺激性： 区分外
水酸化ナトリウムは、ヒト皮膚に対して 0.5%以上で刺激、重度の腐食を引き起こすとの記述があるが、本製品の水酸化ナトリウム含有量は低濃度なので、区分外とした。

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性： 区分外
水酸化ナトリウムは、眼に入ると、結膜や角膜が腐食され、視力低下や失明することがあるが、本製品の水酸化ナトリウム含有量は低濃度なので、区分外とした。

呼吸器感作性又は皮膚感作性： データ不足の為、分類できない。

生殖細胞変異原性： データ不足の為、分類できない。

発がん性： データ不足の為、分類できない。

生殖毒性： データ不足の為、分類できない。

特定標的臓器・全身毒性、（単回ばく露・反復ばく露）： データ不足の為、分類できない。

吸引性呼吸器有害性： データ不足の為、分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性

魚毒性： 区分外
甲殻類 LC50=40.4mg/L/48H（水酸化ナトリウムとして）

残留性・分解性： データなし

生体蓄積性： データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物： 廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。
都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託処理する。
廃棄物の処理にあたっては、処理業者等に危険性、有害性を十分に

告知の上、処理を委託する。

本製品を含む廃液及び洗浄廃水を直接河川等に排出したり、そのまま埋め立てたり投棄することは避ける。

汚染容器及び包装：

空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

国内規制： 適用法令なし

特定の安全対策及び条件： 輸送に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、落下、転倒、損傷がないように積み込み荷崩れの防止を確実に行う。

15. 適用法令

労働安全衛生法： 非該当

化学物質排出把握管理促進法： 非該当
(PRTR 法)

毒物及び劇物取締法： 非該当

消防法： 非該当

水質汚濁防止法： 指定物質（施行令第三条第三項）
「フェノール類及びその塩類」

16. その他の情報

引用文献

- | | |
|---------------------------------|---------------|
| 1. 化学物質管理促進法 PRTR・MSDS 対象物質全データ | 化学工業日報社 |
| 2. 労働安全衛生法 MSDS 対象物質全データ | 化学工業日報社（2007） |
| 3. 化学物質の危険・有害便覧 | 中央労働災害防止協会編 |
| 4. 化学大辞典 | 共同出版 |
| 5. 安衛法化学物質 | 化学工業日報社 |
| 6. 産業中毒便覧（増補版） | 医歯薬出版 |
| 7. 化学物質安全性データブック | オーム社 |
| 8. 公害と毒・危険物（総論編、無機編、有機編） | 三共出版 |
| 9. 化学物質の危険・有害性便覧 | 労働省安全衛生部監修 |

本安全データシート（SDS）は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂される事があります。また、SDS 中の注意事項は通常の実施を前提とした物です。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は用途、使用法に適した安全対策を実施の上、製品を使用して下さい。また、SDS 記載内容については十分注意を払っておりますが、その内容を保証する物ではありません。

※危険・有害性の評価は必ずしも十分でありませぬので、取扱いには十分注意をお願い致します。